

GNH研究所定例会合レポート_2011年11月12日

●会合概要

- ・開催期日：2011年11月12日（土）12：30～15：40
- ・場所：JICA 地球ひろば
- ・参加者：20名

●構成

- ① 甲良町スタディツアー報告
- ② GNH研のこれからの運営に関するワールドカフェ
- ③ 「ダワの巡礼」出版について

①スタディツアー報告

2011年7月29日～31日に滋賀県近江八幡市（安土）と甲良町にて実施された、GNH研究所スタディツアーの内容についてIさんによるプレゼンが行われた。

安土・甲良町の豊かな自然に囲まれた環境と、そこで出会った方々との触れ合いを通じ、生活の中には、古くからあるその土地の良さが上手に活かされていることを知った。

例えば、安土の奥石神社では、地域の方々が交代で清掃を行っていることで神社はとてもきれいな状態に保たれているし、甲良町の甲良町立図書館は、小学校を移転し図書館として活用されており地域の方々の学習や交流の場として利用されている。またお寺では、小学生を対象とした日曜学校も行われていたり、伝統あるものを守りつつ、人々のつながりも保つことのできるような環境が作られている。甲良町では、町全体のことを「まち」と呼び、甲良町を構成する13の集落については「むら」と呼ぶという明確な区別がある。今回訪問した北落地区で学んだ「笑顔で暮らせる豊かな農村」を目指しての「むらまもり（むらづくり）」の取り組みは、「足るを知る」というGNH思想に通じるのではないかと感じた。



<<質疑応答>>

Q1,甲良町の財政基盤は？

A,自治体としては、国・県からの交付金。自主財源は乏しい。
個人レベルとしては、第2・3次産業がメイン。

車で甲良町外への出勤するケースが多い。

Q2. 専門家が入ったのはいつ？

A, 1990 年頃

Q3. 甲良町に高校はありますか？

A, ありません。彦根や近江八幡に通うケースが多い。

Q4. 甲良町に具体的にどのように GNH が取り入れられているか？

A, 甲良町全体としどうかはわからないし、荒川区のような取り組みが行われている訳ではないが、当時のまちづくり担当者としては GNH は強い影響を受けた。

自分がまちづくり担当者だった時のまちづくり総合計画には、

幸せ、幸福、GNH などの考え(言葉)を入れた。

大げさではあるが、北落こそ(日曜学校など含め)GNH が実践されているのではないかと。

※上記回答は、甲良町職員の方に確認したもので、個人的な見解であることをご了承ください。

<<感想>>

Yさんより

ツアー中に開催された夏祭りに参加して感じた点だが、屋台や司会等が外部への委託ではなく、町民同士が協力して対応している点が印象的だった。

また、参加者の年齢層も幅広く、老若男女大勢の方が参加していた点も驚いた。

そして、甲良町立図書館に保管されている本やピアノの状態の良さも印象的であった。

Aさんより

今回のツアーに参加して、甲良町で最初に「むらまもり(むらづくり)」に取り組むようになった経緯(町内で問題意識があったところに、外部から声がかかり、町の住民以上に歴史・成り立ち・現状が調べ尽くされていたことに町の担当者が熱意を感じ、自分たちが「むらまもり(むらづくり)」に真剣に取り組むようになったこと)を知り、介入する側が当事者以上にその背景や状況を良く理解し、かつ条件が揃うことで初めて成功するという点に共感した。



②ワールドカフェ（4グループにて実施）

GNH研究所は2005年3月に設立され、基盤が整備された段階にいる。

改めて、会員の方が会合に出席している目的や、ありたい姿、また今後やってみたいことについて話し合った。

③「ダワの巡礼」出版について

会員有志により進められてきた翻訳プロジェクト第一弾である「ダワの巡礼」が、いよいよ11月20日に発売となる。出版社のご担当坂井様や関係各位のご協力により、ブータン国王陛下ご夫妻の来日と同時期に出版することができた。

今後も、自分たちのペースで翻訳や、ニュースレター発行等を行っていきたい。